



仲間を増やして要求実現

この春 増勢に転じる 決意を固める

2月25日～26日に大阪市内で春の組織拡大期間の成功に向け、「17春の組織・共済拡大交流集会」が開催され、24単組・本部から105人が参加しました。交流集会では、さまざまな経験に学び職場の要求実現とともに、春の組織拡大期間で大きな前進を築いていくことを意思統一しました。



共済加入5割以上を達成し、特別報告をする大阪府職労の小松康則書記長

「ほんまもんプロジェクト」を取り組んで本当に良かった

自治労連共済の特別重点支援措置を取り組み、これまで伝えきれてなかったセット共済の魅力を伝えることができました。全ての組合員との対話を取り組み、つながりの弱かった組合員とのつながりが強まりました。そこでは、職場で見える組合活動が広がり、府職労への信頼が高まり、組織拡大・強化がすすみました。

ほんまもん プロジェクト

自治労連は、共済ライフサポート運動として「特別支援措置」に取り組んでいます。「セット共済掛金プレゼント」を全組合員対象に取り組み「新しい峰に挑戦する」というものです。府職労は健康告知該当者の加入が可能になる組合員の5割以上の加入をめざして取り組みをすすめました。健康告知該当者も加入できる「ほんまもんの共済制度をつくろう」という思いで「ほんまもんプロジェクト」と名づけています。



シティプラザ労働組合の結成を喜び仲間たち

大阪自治労連の新しい仲間

組合結成はみんなの 力があつたから

シティプラザの事業者選定のためのプロポーザルが行われている時に、大阪自治労連から「労働組合を作りませんか」というお誘いがありました。昨年5月に労働組合の準備会を立ち上げました。メンバーは結成大会で執行委員に選ばれたメンバーが中心でした。最初は、労働組合に関しての知識がなく、「本当に結成できるのか?」「従業員のみなさんが加入してくれるのか?」と不安しかなかった。大阪自治労連の役員を講師に学習会を重ね、準備会のメンバーの協力により結成大会の日を

多くの組合員のみなさんが利用しているシティプラザ大阪。一昨年、シティプラザの事業者選定のためのプロポーザルが行われました。雇用とサービスの継続を守るために、2月27日労働組合が結成されました。組合結成までの経過や今後の抱負を語ってもらいました。

次のステップへ

迎えることができました。また、対象となる仲間のほとんどが組合に加入してもらうことができました。このことは、それだけ将来への不安、仕事や会社に対する要求が多いことの表れだと思っています。結成できたという安堵感と共に責任の重さを感じています。

LESSYUできる職場環境をつくり、ゆとりと働きがいのある職場にしていきたいです。労働意欲が向上すれば、シティプラザの業績も向上し、賃金や労働条件がさらによくなるよう循環していくと思います。そして、経営が安定すればプロポーザルを行う必要性もなくなり、雇用も安定し、組合員及び家族の安心と幸福につながるものと信じています。



荒田委員長(右)からノボリが手渡されました

シティプラザ労働組合結成!



おおさか
自治体の仲間

発行：大阪自治労連(大阪自治体労働組合総連合) 2017年3月15日 No.331

〒530-0041 大阪市北区天神橋一丁目13番15号
大阪グリーン会館4階 ☎06-6354-7201 FAX06-6354-7206
E-mail:mado@osaka-jichiroren.jp
URL:http://www.osaka-jichiroren.jp

発行人/荒田 功 編集人/鴻村 博
毎月15日発行(1部10円)組合員の購読料は
組合費に含まれています。